

協働ハンドブック VOL. 2



本市は、2005年度（平成17年度）から、市民一人ひとりが、まちづくりの主演として、お互いの人権を尊重し、それぞれの特色や個性を活かし協力してまちづくりに取り組むことができる「自助」「共助」「公助」による協働のまちづくりを進めてきました。

このハンドブックでは、本市の協働のまちづくりの施策や事例を紹介しています。

ご一読いただいた皆様に、本市の協働のまちづくりに対するご理解と、協働の更なる深化にむけてのご協力をいただければ幸いです。

2017年（平成29年）3月

福山市

目次

	ページ
1. 協働のまちづくりとは	1
コラム 協働のまちづくりの原点	
2. 協働のまちづくりのあゆみ	2
3. 協働のまちづくりを支える5つの特徴	3
4. 地域のまちづくりの取組	3～4
メモ 小学校区と自治組織数	
5. 様々なまちづくり (事例)	5～6
> 歴史的な資源を生かした取組 (駅家東学区・中条学区)	
> 高齢者の交流拠点「日吉台くらぶ」を活用したまちづくり (日吉台学区)	
> 親水空間を市民と行政の協働により清掃 (西深津学区)	
> 地域を元気に! 「まちづくり応援団」(今津学区)	
> 松永はきもの資料館の運営 (松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会)	
> 人・まち・ふくしフェスタ@うつみ・ぬまくま, ローズパーティー (両実行委員会)	
> 駅の駐輪場整備・管理の市民協働 (道上学区)	
6. 協働のまちづくりを支える施策 (事例)	7～9
> 協働推進員との連携事例～河川清掃～ (引野学区)	
7. 相談窓口	9

用語の定義

このハンドブックでは次のように定義します。

◇市民

福山市に在住, 在学, 市内の企業に勤務しているすべての個人, 団体, 企業

◇市民活動

非営利による社会的課題を解決するために行われる市民の自発的な活動

※地域で行われている活動や, ボランティア・NPOが行う活動, 学校・大学, 企業等が行うボランティア活動, 社会貢献活動をすべて含むもの

◇まちづくり推進委員会

地域課題の解決や活性化, コミュニティの育成等に取り組むため, 自治会(町内会)をはじめ, 小学校区または町を基準とした範囲内の各種団体等により構成した組織

※P3 参照

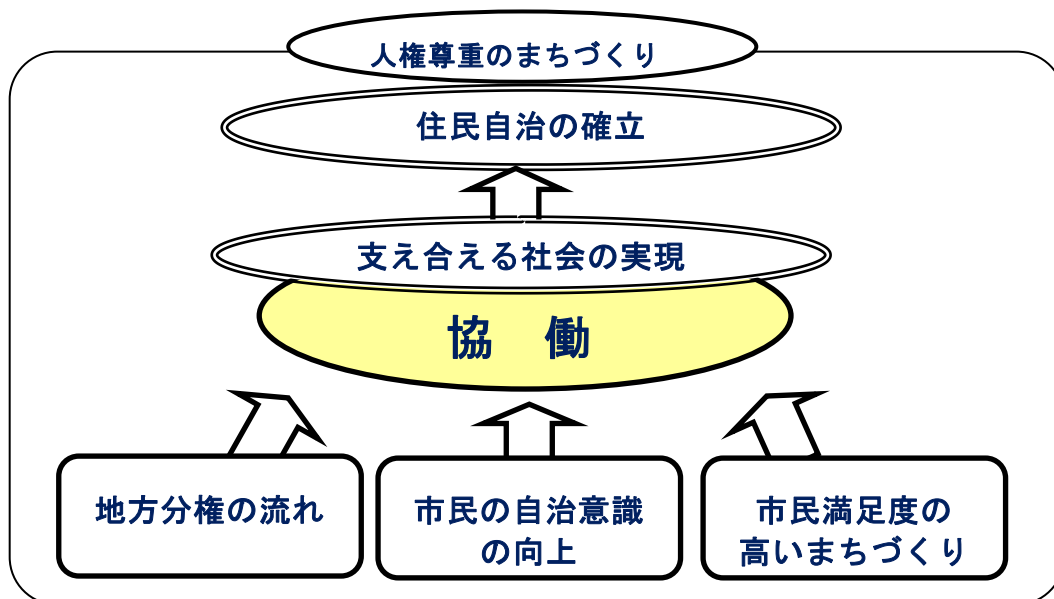
◇多様な主体

地域やボランティア・NPO, 学校・大学, 企業, 行政等まちづくりに関わる人や団体すべてを含むもの

1. 協働のまちづくりとは

市民がまちづくりの主体であることを認識し、「市民がお互いに、あるいは市民と行政が、共通の目的を共有し、それぞれの持つ特性を活かしながら、対等な立場で補完しあい、協力しあって、自主・自立のまちづくりに取り組むこと」です。※【福山市協働のまちづくり指針】

地域やボランティア・NPO、学校・大学、企業、行政等多様な主体が支え合える社会の実現と、市民の皆さんが、地域に愛着を持ち、まちづくりの主役として活躍できる住民主体の地域づくり、「住民自治」の確立をめざしています。



コラム 協働のまちづくりの原点

ばらのまちづくり

本市のばらのまちづくりは、1956年（昭和31年）に市民が戦後の復興と平和への願いを込め、1,000本のばらを現在のばら公園に植えたことから始まりました。

ばらのまちづくりは、その後市民と行政が協働して推進する本市の協働のまちづくりの原点となり、取組の中から、「ローズマインド（思いやり・やさしさ・助け合いの心）」という言葉が生まれています。

2016年（平成28年）5月21日には「100万本のばらのまち」を達成し、「福山市ばらのまち条例」に基づき、ローズマインドを福山の文化として根付くよう取り組んでいます。



一荷合力（いっかこうろく）

沼隈町では、家を新築する際に、舟で運ばれてきた瓦を近所の人が天秤棒で運び込んだことに由来する相互扶助の精神があり、こうした習慣を「一荷合力」と呼んでいました。

今でも沼隈町内では生活道路やガードパイプの整備等、住民の皆さんが協力して生活環境などを整備する地域づくりが行われており、この精神が引き継がれています。

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という「一荷合力」の精神は、現在の協働のまちづくりの理念に通ずるものです。

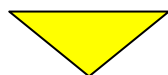


2. 協働のまちづくりのあゆみ

2005年(平成17年)7月「福山市協働のまちづくり指針」策定

市民と行政が対等な立場で役割を担い協力し合う「自助・共助・公助」のまちづくりを推進
[推進方針]

- 1 お互いに情報を共有します。
- 2 人材づくりを通じた意識づくりや啓発を行います。
- 3 みんなが活動しやすい参加しやすいシステムづくりを行います。
- 4 協働に関する事業の評価・公開を行います。

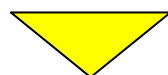


2006年(平成18年)4月～

「福山市協働のまちづくり行動計画」に基づく取組開始

市民と行政が協働し、市民による自主的・主体的なまちづくり活動の推進をスタート
[推進事業]

- まちづくり推進委員会による各地域（小学校区を基本とする）での地域まちづくり推進事業の実施…**地域課題の解決・活性化・コミュニティの育成**をめざす
- 市民提案型事業に対する補助など**ボランティア・NPO等の市民活動を支援**



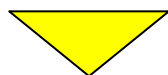
2012年(平成24年)4月～

「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」に基づく取組開始

市制施行100周年の2016年度(平成28年度)に、市民一人ひとりが「まちづくりの主役」として、協力し合い、いきいきと活躍できるまちとなることをめざす
[重点項目]

地域をめざすべき目標、解決すべき課題を住民みんなで共有

- 各学区(町)まちづくり推進委員会で「**地域まちづくり計画**」策定
- まちづくりに対し、「**想い(志)**」のある市民の活躍の場を創る
- 各学区(町)において「**まちづくり志縁チーム**」設立
- 地域を中心とした「**まちづくり**」のネットワークを創る
- まちづくりサポートセンター**を中心とした連携・支援



協働の更なる深化

まちづくりサポートセンターを中心に、市民、ボランティア・NPO、学校・大学、企業、行政等多様な主体による連携を図り、地域課題の解決や魅力の創出を推進していきます。

3. 協働のまちづくりを支える5つの特徴

1) まちづくりの拠点 【公民館・コミュニティセンター（館）】

市内には79の公民館と18のコミュニティセンター（館）があり、まちづくりの拠点となっています。地域まちづくり推進事業等の補助金申請手続きやまちづくり推進委員会への案内など、公民館は地域の窓口・情報拠点の役割を担っています。

2) 地域の未来ビジョンづくり 【地域まちづくり計画】

まちづくり推進委員会が主体となり、住民が地域課題の解決方法や将来像を話し合い、地域まちづくり計画を策定し、計画に基づいた活動を行っています。

※2016年度（平成28年度）に全79学区（町）で策定

3) 地域と行政をつなぐ 【生涯学習センター，協働推進員】

6つの生涯学習センターが地域と行政とをつなぐ連携窓口です。

行政内の連携体制として、各課の協働推進員が窓口となり、生涯学習センターを通じて地域課題等を一緒に協議し、課題解決をめざします。

4) 全市的に市民活動を支援する拠点 【まちづくりサポートセンター】

ボランティア・NPO等に関する情報の収集と発信のほか、団体間のマッチングやネットワークづくり、活動の場の提供を行うなど、多様な市民活動をサポートしています。

※2014年（平成26年）10月に開設

5) まちづくりへの関心を深める講座 【ふくやま人財大学】

環境、防災、人権など幅広い分野の学習機会や情報共有の場を設け、市民のまちづくりへの関心や理解を深め、協働のまちづくりを推進する人材を育成します。

※2016年度（平成28年度）は全4コース 7講座

4. 地域のまちづくりの取組

1) まちづくり推進委員会

地域住民が主体的に地域課題の解決や魅力づくりに取り組むための組織です。地域の各種団体の代表者等で構成されています。

市内には、公民館毎に1組織、79のまちづくり推進委員会があります。

※2006年度（平成18年度）まちづくり推進委員会の設立



2) 構成団体例

自治会（町内会）、福祉を高める会、公衆衛生推進委員会、行政職員の会、女性会、老人会、体育会、子ども会、小学校、小学校PTA、自主防災組織、民生・児童委員など

3) 活動財源

「福山市地域まちづくり推進事業」補助金や、地域まちづくり計画策定に基づく事業を助成する「福山市地域まちづくり計画推進事業」補助金を主な財源として活動しています。

※「福山市地域まちづくり推進事業」補助金は、市が地域に交付していた7つの補助金を統合し、地域のまちづくりを推進する事業の実施を補助する包括的な補助金です。

《統合した補助金の内容と統合年度》

- ・2006年度（平成18年度）～ 町内会育成費補助、分別収集協力事業費補助、納税推進事業費補助、地域福祉活動推進事業費補助、明るいまちづくり学区活動費補助、学区ふれあい事業費補助
- ・2009年度（平成21年度）～ 公衆衛生推進事業費補助

- ・福山市地域まちづくり推進事業 補助金
まちづくり推進委員会（79 委員会）が地域の課題解決や活性化をはかるために取り組む事業に対する補助金。
1 委員会平均 160 万円
各地域で取り組まれる地域まちづくり推進事業の事業費を超えない範囲で、79 のまちづくり推進委員会に均等に配分する均等割額と地域内の世帯数に応じる世帯割額を合計した金額を補助金として助成。（※世帯割額：前年 3 月末の世帯数基準）
- ・福山市地域まちづくり計画推進事業 補助金
地域まちづくり計画を策定したまちづくり推進委員会が、同計画に基づき実施する事業に対する補助金。
1 年あたり 30 万円を上限に補助金申請可
※策定年度を含み 2019 年度（平成 31 年度）まで 3 年間を限度とする。

5) 地域まちづくり計画

自分たちの住む地域の未来ビジョンを住民自身で描き、その実現のための道筋を住民自ら考え、取りまとめた計画。地域の環境や歴史などの特色、人口推移の状況など、地域の現在と将来を見つめ、地域ごとに特色ある計画が策定されています。

地域内全戸に配布された冊子のほか、市ホームページで各地域の計画を見ることができます。

地域まちづくり計画 **検索**

6) 在住行政職員の会

まちづくり推進委員会の構成団体として、住民学習会等の人権啓発の推進活動や学区（町）の様々な地域まちづくり推進事業へ主体的に参加しています。

メモ 小学校区と自治組織数

※2016 年（平成 28 年）4 月 1 日時点

○**小学校区**：7 8 小学校区 ※山野北（休校）含む（中条三谷分校除く）

○**自治会・町内会連合会**：8 0 学区（地区・町） ※小学校区との相違点

小学校区名	組織名
内海学区	田島西部自治会連合会／横島地区連合自治会（2 組織）
今津学区	今津学区自治会連合会／高西町自治会連合会（2 組織）
山野学区／山野北学区（休校中）	山野町内会連合会（1 組織）
鞆学区	鞆町内会連絡協議会／走島自治会連合会（2 組織）
内浦学区	田島東部自治会連合会（組織名異なる）

○**まちづくり推進委員会**：7 9 委員会 ※小学校区との相違点

小学校区名	組織名
今津学区	今津学区まちづくり推進委員会 高西町まちづくり推進委員会（2 組織）
山野学区／山野北学区（休校中）	山野まちづくり推進委員会（1 組織）
鞆学区	鞆学区まちづくり推進委員会 走島町まちづくり推進委員会（2 組織）
新市学区	しんいち学区まちづくり推進委員会 （組織名ひらがな表記）

5. 様々なまちづくり

歴史的な資源を生かした取組（駅家東学区・中条学区）

駅家東学区では、^{かけきこ}掛迫古墳等の歴史的資源整備や歴史ウォークスタンプラリー実施により、地域の魅力を発信しています。

中条学区では、郷土に伝わる伝説を紹介する冊子「中条のむかしばなし」等を作成しました。

ともに地域の歴史や文化遺産の次世代への伝承に取り組んでいます。



オリジナルのスタンプラリーは好評です



歴史や文化遺産の啓発冊子

高齢者の交流拠点「日吉台くらぶ」を活用したまちづくり（日吉台学区）

2014年（平成26年）6月に高齢者の交流拠点としてオープンした「日吉台くらぶ」。住民の憩いの場になるようばら花壇を整備するとともに、趣味の講座や健康講座も定期的に実施しています。また、同年11月には学区内バス路線の減少に対応し、住民の買い物や病院等への外出を支援する「おでかけ支援事業」の取組を始めました。

2015年（平成27年）7月には、地域包括ケアシステムを活用した「珈琲サロン・憩い」を開始。

毎週金曜日には、お出かけ支援事業を活用して買い物から帰る住民も立ち寄り、食事とおしゃべりを楽しんでいます。



「珈琲サロン・憩い」



おでかけ支援事業

親水空間を市民と行政の協働により清掃（西深津学区）

西深津学区では毎年、「こども土曜クラブ事業」として「蓮池川自然体験」を行っています。

2016年度（平成28年度）には、川の中に溜まった大型のごみを撤去するために大規模な清掃活動を実施しました。関係課の連携により水位の下げられた川で、子どもを含め138人の住民と行政が協力し、自転車等の大型ごみの収集や護岸の草を除きました。

力をあわせて美しい川を保つ取組は、住民の交流と環境美化意識の向上につながっています。



清掃活動の様子



「こども土曜クラブ事業」

地域を元気に！「まちづくり応援団」（今津学区）

今津学区の「まちづくり応援団」は、いつでも誰でも気軽に参加できるサロンの役割を担っている場「花咲か塾」から生まれました。

メンバーがそれぞれの経験や特技を生かし、地域を元気にしようと活動中で、福山大学の学生とも交流を深め、商店街の空き店舗を活用したインターネット講座などを学生と一緒に開催しています。



コリントゲーム製作

松永はきもの資料館の運営（松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会）

一旦閉館していた文化施設を「松永はきもの資料館（愛称：あしあとスクエア）」として2015年（平成27年）7月から地域住民と行政の協働により運営しています。

松永地域9学区（町）が連携し、松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会事業として、毎週金・土・日・祝日に地域住民が受付業務等を担い、開館しています。



松永はきもの資料館



連絡協議会による受付業務

人・まち・ふくしフェスタ@うつみ・ぬまくま、ローズパーティー（両実行委員会）

南部地域17学区（町）が連携して、地域における市民の主体的な文化活動や「ばら」にちなんだ市民文化の育成を支援する生涯学習イベントとして、地域の特産品の販売や作品展示、伝統芸能を披露するステージなどを開催しています。

広域の地域連携と情報交換がそれぞれのまちづくりの磨きあいにつながっています。



イベントの様子

駅の駐輪場整備・管理の市民協働（道上学区）

自転車が乱雑に置かれている駅の駐輪場の状態に対し、隣接する土地保有者から無償提供の申し出を受けた地域のまちづくり推進委員会が生涯学習センターを窓口として市と協議。無償提供された土地に市が舗装等を行い、駐輪場を整備しました。

現在は、地域住民で構成された「道上新整美委員会」が自転車マナーの指導や植栽管理により美しい環境を持続しています。



整備前



整備後

6. 協働のまちづくりを支える施策

1) まちづくりサポートセンター

まちづくりサポートセンター（愛称：まちサポ）は、ボランティアやNPOをはじめとするあらゆる市民活動を支援するまちづくりの交流拠点です。

「活動を多くの人に知ってもらいたい」「活躍のステージやパートナーを探している」などのニーズに応え、市民の皆さんが主役として輝くまちづくりをサポートし、協働のまちづくりの更なるバージョンアップをめざします。

「まちサポ」に登録すると、市ホームページなどでの団体情報の発信や登録団体同士の交流の場への参加、「まちサポ」の諸室の無料利用などができます。



市民参画センター
2階(本町)

ボランティア・NPO相談

毎月2回、専門相談員がまちづくりに取り組む皆さんの課題解決をサポートします。

平日の午前9時から午後4時まで、センター長による「まちづくり相談」を常時受け付けています。

(※相談無料、予約優先)



相談の様子

まちづくりCafe

ゆるやかなカフェの雰囲気の中で、まちづくりに関する情報交換や活動紹介などを気軽におしゃべりし、つながりをつくる場です。



Cafeの様子

2) まちづくりサポートセンターを中心としたまちづくり

仕組みづくり

- 各学区（町）による「地域まちづくり計画」に基づく事業の推進を支援
- 専門（プロ）人財の活躍
- 新たな行政支援
- NPO活動と地域との連携



竹の資源化事業

人づくり

- ふくやま人財大学
まちづくりサポートセンターと連携し、学びの成果が地域活動につながる実践的な機会を提供します。
- まちづくり大学 ○ばら大学 ○防災大学
- 子育て支援ボランティア養成講座 ○環境大学
- イコールふくやま人材育成セミナー ○人権大学

学ぶ

→ 地域課題
に気付く

→ 仲間を
つくる

→ 行動する

まちづくり(活躍の場)

【地域での活躍の場づくり】
市民協働による文化施設の運営 ※ P 6 参照

まちづくりサポートセンター(全市的にまちづくりを支援)



- 『まちづくり人財バンク』による活躍の場の提供
- 市民活動のマッチング（仲介）
- 情報の集約と提供 ●活動場所の提供
- ボランティア・NPO等のネットワークづくり
- 市民活動時の安心補償

3) 人材育成の取組 ふくやま人財大学

ふくやま人財大学は、地域活動に関わる幅広いコース・講座を設けて、市民の皆様が受講を通じ、①地域活動に必要な知識・技術を学び ②仲間同士のネットワークを広げ ③自らの学びの成果を地域社会の中で活かすことを目的として開催しています。

【コース一覧】全4コース7講座 ※2016年度(平成28年度)時点

- 教養コース ふくやま♡まちづくり大学, 福山ばら大学, ふくやま人権大学, イコールふくやま人材育成セミナー
- 安心安全コース 福山防災大学
- 環境コース ふくやま環境大学
- 子育て応援コース キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)養成講座

「ふくやま♡まちづくり大学」は、福山のまちを愛する人がつながり学び合う出会いと学びの場です。

開講期間 2016年(平成28年) 9/29(木)から 2017年(平成29年) 2/18(土)まで

公開講座で学ぼう! 5回

ステップアップ講座でスキルを磨こう! 3コース7回

フィールドワークで現場をのぞこう! 3回

まちづくりCafeでつながろう! 3回

受講料 公開講座・ステップアップ講座の中から3回以上受講し、かつフィールドワーク・まちづくりCafeの受講(参加)1回以上で修了を認定します。

ふくやま人財大学・共通科目の「ふくやま♡まちづくり大学」は、人がつながり、学び合う、出会いと学びの場です。

市民一人ひとりが「まちづくりの主役」として、いきいきと活躍できるまちの実現をめざして開催します。

開講期間や内容、会場などは年度により異なります。広報「ふくやま」等で随時お知らせします。



2016年度(平成28年度)の様子

2016年度(平成28年度)チラシ

4) 地域ポイント制度(まちづくりパスポート事業)

まちづくりパスポート事業(愛称:まちパス)は、将来、福山のまちづくりを支える子どもたちの市や地域行事への参加を促し、福山市への関心を高めることを目的とした制度です。

「まちパス対象活動」(ボランティア活動や地域清掃、公民館の講座など)参加により「まちパスポイント」を集め、集めたポイントにより、ばらの苗や市内映画館での無料鑑賞などの特典と交換できます。

市内に在住または通学する小・中・高等学校の児童・生徒、専門学校生、大学生及びその家族を対象としています。

まちづくり推進委員会が主催する子どもを対象とした地域活動は、まちパス対象活動になります。詳細は公民館にお尋ねください。



福山ばら祭「ローズボランティア」



まちづくりパスポート

5) 協働推進員制度

2013 年度（平成 25 年度）から各課に「協働推進員」を設置しています。全ての職場に協働のまちづくりの窓口となる職員を配置することにより、職場の全職員の協働意識を高め、市民協働の取組をさらに横断的・全庁的に推進し、住民の皆さんから事業提案や相談のしやすい環境づくりをめざしています。

協働推進員との連携事例～河川清掃～（引野学区）

地域のまちづくり推進委員会から河川清掃の相談を受けた生涯学習センターが協働推進員を窓口として関係課につなぎ、住民と行政で協議し、清掃活動を実施しました。

住民と行政が協議を重ね、役割を担いあつた清掃活動は、市民と行政の信頼関係の構築や、自助・共助の意義・役割意識の浸透、安全な清掃活動の実施、参加者同士の交流につながりました。



清掃活動の様子

※住民だけでは解決が困難な地域課題や行政と協働することが望ましいと考えられる案件は、公民館等にご相談ください。お寄せいただいたご相談は管轄の生涯学習センターが地域の窓口となり、関係部署の協働推進員と連携し、皆さんと一緒に、よりよい地域づくりを考えていきます。

7. 相談窓口 まちづくりに関する情報収集やご相談はお気軽にご連絡ください。

各地域の窓口		
中部生涯学習センター	まなびの館ローズコム内	☎084 - 932 - 7265
南部生涯学習センター	福山市沼隈支所内	☎084 - 980 - 7713
松永生涯学習センター	福山市松永支所内	☎084 - 934 - 5443
北部生涯学習センター	福山市北部支所内	☎084 - 976 - 9460
東部生涯学習センター	福山市東部支所内	☎084 - 940 - 2574
神辺生涯学習センター	福山市神辺支所内	☎084 - 962 - 5026
全市的な地域・団体の活動支援		
協働のまちづくり課	福山市市民参画センター内	☎084 - 928 - 1051
まちづくりサポートセンター	福山市市民参画センター内 ✉machi - sapo@city.fukuyama.hiroshima.jp	☎084 - 923 - 9006
福山市社会福祉協議会 ボランティアセンター	福山すこやかセンター内	☎084 - 928 - 1346

